

競技注意事項

1 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により行う。

2 招集について

招集は、以下の手順で行う。

(1) 下記の時間帯で実施する。招集所には、アスリートビブスを持参の上、競技者係のチェックを受けること。

トラック競技	競技開始 40 分前～20 分前まで
フィールド競技	競技開始 60 分前～40 分前まで

(2) トラック競技は出発点、フィールド競技は選手待機場所付近にて競技開始の 10 分前に最終点呼を行う。

(3) 棄権をする場合は、招集完了時刻までに棄権届（本部席総務に準備）を競技者係に提出すること。

(4) 2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。

(5) リレーはオーダー用紙（招集所に準備）を各ラウンドの招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。招集は規定通り受けること。

3 アスリートビブスについて

(1) 競技者はアスリートビブスを胸部と背部に付けて出場しなければならない。トラック競技に出場する選手は競技者係から配布された腰ナンバービブスを右腰やや後ろ側に付けること。但し、跳躍種目に出場する選手はその種目に限り、胸部又は背部のいずれかを除いてもよい。

(2) 競歩競技は、係が配付するアスリートビブスを胸部に付けて、出場しなければならない。

4 競技について

(1) 競技日程については、天候等を考慮し、安全を優先して変更する場合がある。

(2) スパイクのピンは全天候走路型とし、長さは 9 mm 以下とすること。但し、走高跳・やり投については 12 mm 以下とする。

(3) シューズは規定に沿ったものを使用すること。厚さ等について、審判長の指示で計測をすることがある。

(4) 不適切行為による競技者およびリレー・チームへの警告は累積され、2 度目の警告を受けた場合は除外（失格）となる。除外された場合、当該競技会のそれ以降の全ての種目やラウンドに出場できなくなる。

(5) 選手変更（補欠との入れ替え）については、本部総務席で行う。

(6) トラック競技

- ・プラス進出者の最後の 1 枠に同成績（0.001 秒まで同じ）がいる場合、空きレーンがあれば全員が次ラウンドに進出するが、空きレーンがなければ、次ラウンドへの進出者は抽選により決定する。ただし 1500m 以上の種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。
- ・抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後 5 分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は総務員が代理で行う。
- ・リレーに出場するチームは全員同一ユニフォームで出場すること。但し、色やデザインが同様に、同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
- ・4×400mR の第 3・4 走者は、競技役員の指示に従い、前走者が 200m スタート地点を通過した順位で内側から並び、待機する。その後に順位が変動しても、並び順を変えてはならない。
- ・リレーおよび 800m 以下のトラック種目において、棄権等で予選または準決勝の出場者が減り、出場者が 9 人（チーム）以下になった場合は、予選（または準決勝）をなくし、同種目の決勝の時間に決勝レースを実施する。1500m 以上の種目においては、19 人以下になった場合に予選をなくし、同種目の決勝の時間に決勝レースを実施する。

(7) フィールド競技

- ・バーの上げ方については、次の通りとする。ただし、気象条件等により変更することがある。
男子走高跳（1.55～）1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.83（以降 3cm 刻）
女子走高跳（1.20～）1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.53（以降 3cm 刻）
男女棒高跳は、当日現地にて決定する。
- ・走高跳においては、トラック側にマットを設置する。
- ・三段跳においては、踏切板の位置を男子 A は 11m、男子 B は 10m、女子は 8m・9m の 2 つに設定し、当日選手が申告するものとする。
- ・持参のやりの使用については、検査のうえ使用を認める。検査は本部前にて招集完了までに受けること。
- ・男子 B の投擲種目においては、砲丸投 5kg、円盤投 1.5kg とする。

- ・フィールド種目の競技者がコーチ等から録画機器を受け取ってビデオを見ることはできるが、通信や撮影等、動作確認以外には使用することができない。また、録画機器の受け渡しは、コーン等で指定されたエリア（安全且つ競技運営に支障のない場所）で、ひもやかご等（各チームで準備）を使用して行うことができるが、機器が破損した場合、主催者は一切の責任を負わない。なお、投げ渡しや身を乗り出しての危険な状態での受け渡しは認めない。

5 ウォーミングアップについて

- (1) 競技場前運動場を使用することができる。
- (2) メイン競技場での練習は競技開始の30分前までとする。
- (3) 投てきの練習については、審判員の指示に従い、事故のないように十分注意すること。

6 抗議と上訴について

- (1) 競技中に起きた競技者の結果又は行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次ラウンドが行われる種目では15分以内）に、審判長に対して口頭でなされなければならない（アナウンスによる結果発表終了時刻を基準とする）。
- (2) 抗議者は抗議担当総務員に申し出ること。
- (3) 審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、当該競技者の監督により預託金1万円を添えて「上訴申立書」を、抗議担当総務員を通して Jury に提出されなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、以下の通りとする。
 - ・結果が変更された場合：結果が公式に発表されてから30分以内（同一日に次ラウンドが行われる種目では15分以内）
 - ・結果が変更されなかった場合：抗議者に対してその旨が通告されてから30分以内（同一日に次ラウンドが行われる種目では15分以内）

7 県大会について

各種目、Aは6位、Bは3位、共通は8位までの入賞者は県大会に出場できる。ただし、走高跳・棒高跳はAは6位までの6人、Bは3位までの3人、共通は8位までの8人とし、最後の枠に同成績がいる場合は、ジャンプオフ形式で決定戦を行う。

会場：博多の森陸上競技場 期日：7月5日（土）～6日（日）

8 その他

- (1) スタンドで立って応援することを慎むなどマナーを守って応援すること。
- (2) 雷が鳴った場合はすぐさま競技を中断する。その場合は、兆候（雷鳴や稲光）がなくなって30分後を目安に競技を再開（アナウンスで指示）する。なお、中断時間によっては以降の種目の実施方法を変更（タイムレースに変更やフィールド種目の試技回数の変更等）することもある。
- (3) 撮影は、以下の図の枠内では禁止とする。

